

8. 本時の学習 (2/8)

1年3組 指導者 宮北陽子

(1) 目標

◎モデル文をもとに、知らせる内容が生き物の特徴だということに気付くことができる。

(2) 本時の展開

過程	学習活動	☆手だて ○指導の留意点 ◆評価【方法】
導入	1. 前時までの学習を振り返り、本時の見通しをもつ。	○好きな動物や植物のことをおうちの人や友達に知らせるための作文を書くことを押さえる。
展開	2. 本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> モデル文をよんで、かんさつすることを みつけよう。 </div> 3. どういうことを知らせるとよいのかを考える。 4. モデル文を読み、書かれていることを考える。 ・からだ ・かおの様子 (目・鼻のまわり) ・足 ・えさを食べる様子	○モルモットの絵を提示し、どういうことを知らせるとよいのかを考えさせる。 ○モデル文をもとに、キーワードになる言葉を押さえる。 ☆キーワードの言葉を色別のカードに記入し、視点を押さえる。 ◆生き物の知らせたい視点に気付いている。 【観察・発言】
まとめ	5. 振り返りをし、次時の見通しをもつ。	○次回、ニワトリのコッコで観察文を書くことを知らせる。コッコの写真を用意しておく。